

Segmentのインテグレーション

概要

さらなるインテグレーションの活用により、ユーザーのより効果的な分析とアプリ内エクスペリエンスによるユーザーのターゲティングが可能になります。

WalkMeでそのまま使えるインテグレーションとしてSegment™を利用できるようになりました。Segmentと統合されたあらゆるシステムにWalkMeスニペットを注入したり、セグメントからのイベントを取得してWalkMe内でさまざまなユースケース（コンテンツのセグメンテーションなど）に利用したりすることができます。

ユースケース

Incomingインテグレーション

Segment.ioからイベントを取得してWalkMe内でコンテンツのセグメンテーションに利用。

- Segment.ioからのデータをWalkMeエディタ内でルールのセグメンテーションまたはダイナミック変数に利用。
- Segment.ioで定義された顧客の属性に基づいてWalkMeのコンテンツをターゲティング。
- ユーザー属性に基づいて、エンドユーザーエクスペリエンスをパーソナライズ。
- SegmentからのEUIDを利用。

Outgoingインテグレーション

WalkMeのスニペットをSegment.ioと統合されたあらゆるシステムに注入して、データに基づく意思決定を推進。

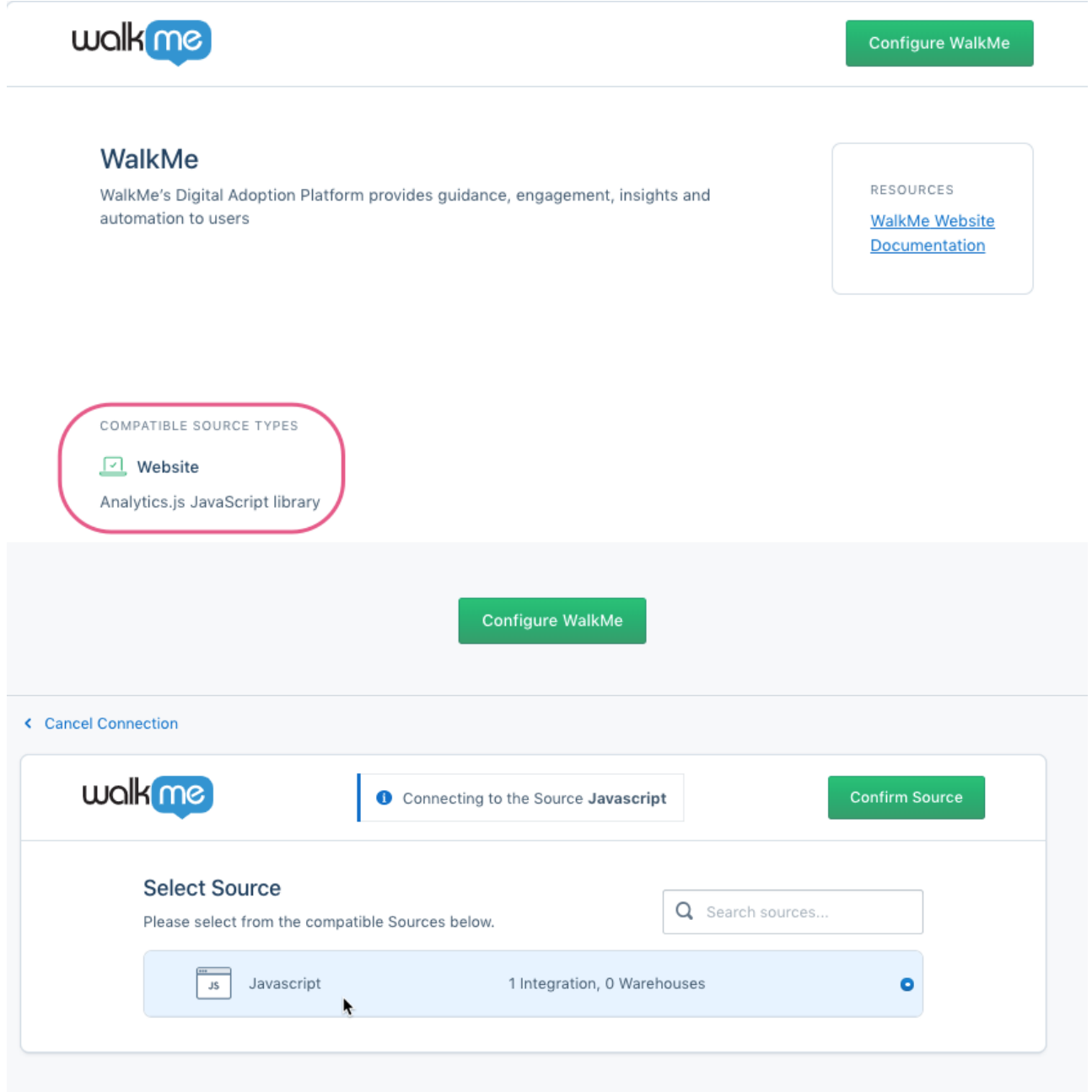
- データウェアハウスまたはBIツールに接続して、システムをさらに分析。
- 組織内のステークホルダーによるWalkMeエンゲージメントの可視性を向上。
- 「タグ」マネージャーとしてのセグメントSegmentを使用し、Segmentと統合されたあらゆるシステムにWalkMeスニペットを注入。
- WalkMeまたはUBTデータを直接Segmentに送信する。

インテグレーションの設定

Segmentのインテグレーションを利用するとアプリケーションにWalkMeを導入する必要がなくなります（WalkMeスニペットはSegmentによって注入されます）。インテグレーションの準備が完了した

らWalkMeスニペットをサイトから削除してください。

1. [Segmentのカatalog](#)にアクセスし、WalkMeを検索するか、[こちらをクリック](#)します。
2. Segment UIの [Destinations(送信先)] ページから [Add Destination(送信先を追加)] をクリックします。
3. [Destinations Catalog(送信先Catalog)] で「WalkMe」を検索し、接続したいJavaScriptのソースを承認します。



walkme

Configure WalkMe

WalkMe
WalkMe's Digital Adoption Platform provides guidance, engagement, insights and automation to users

RESOURCES
[WalkMe Website](#)
[Documentation](#)

COMPATIBLE SOURCE TYPES

Website
Analytics.js JavaScript library

Configure WalkMe

< Cancel Connection

walkme

Connecting to the Source Javascript

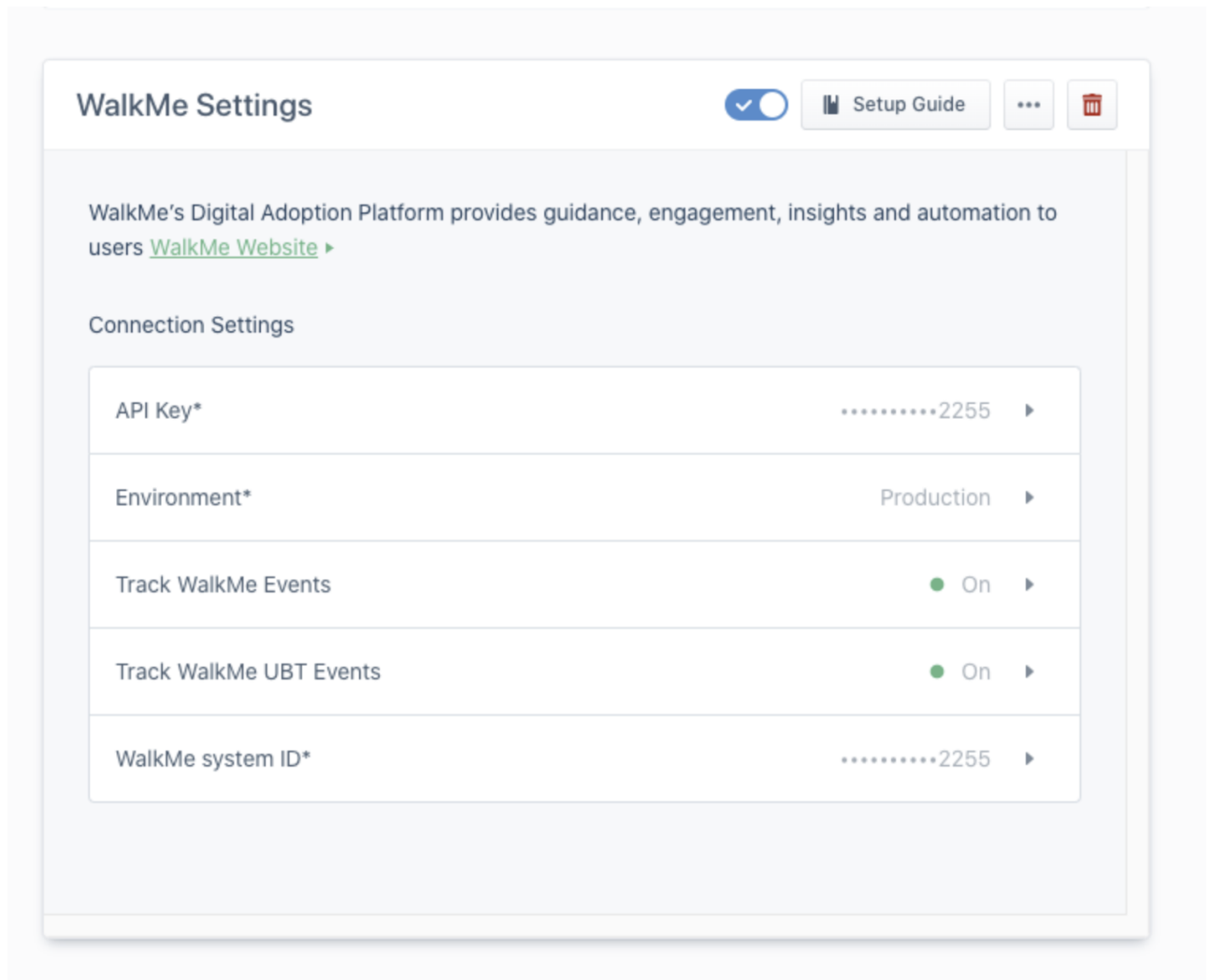
Confirm Source

Select Source
Please select from the compatible Sources below.

Search sources...

JS Javascript 1 Integration, 0 Warehouses

4. WalkMeの設定で以下の内容を行います。



1. Segment Source Snippet (Segmentソーススニペット) のAPIキーをAPIキーフィールドに配置します。

- Segmentソースにアクセスし、お客様のSegment Workspace (Segmentワークスペース) でSegmentソーススニペットのAPIキーを表示して「Add Segment to your site」をクリックし、analytics.load(「some-key」)内の文字列をコピーできます。

▼ Add Segment to your site – required

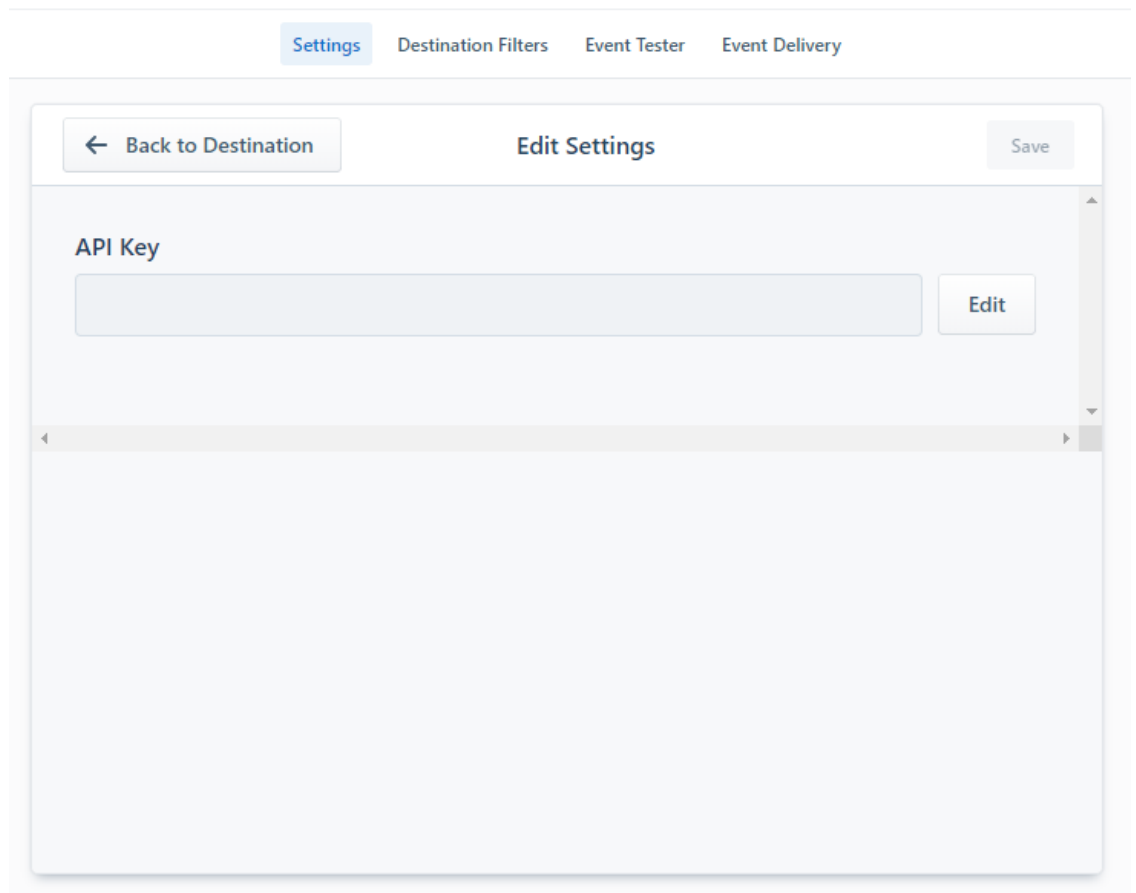
Install the Segment snippet on your website

Copy the Segment snippet and paste it high in the <head> of your website. Learn more about setting up Segment in the [Analytics.js guide](#).

```
<script>
!function(){var analytics=window.analytics=window.analytics||[];if(!analytics.initialize)if(analytics.invoked)
analytics.load("AAABBBCCDDDEEEFF1122233344455");
analytics.page();
})();
</script>
```

 Copy Snippet

Don't have access to code? [Invite a team member!](#)



2. 「Environment（環境）」を選択します。以下の例では「Production（本番）」が選択されていますが、まずはTest環境に設定することをお勧めします。

← Back to Destination

Edit Settings

Save

Environment

Production

WalkMe environment that should be loaded (e.g. Test, Production), you can find it in the Editor's Snippet area

3. **Track WalkMe Events**(WalkMeイベントの追跡) および / または **TrackWalkMe UBT Events**(WalkMe UBTイベントの追跡) の設定を有効にしてSegmentに送信するデータを選択してください。
 - **Track Walkme Events**(WalkMeイベントの追跡) を有効にすることで、すべてのWalkMeデータをSegmentに送信できるようになります。

Settings

Destination Filters

Event Tester

Event Delivery

← Back to Destination

Edit Settings

Track WalkMe Events

☒

If enable, WalkMe events will be tracked by Segment

← Back to Destination

Edit Settings

Track WalkMe UBT Events

☒

If enabled, WalkMe UBT events will be sent to Segment

4. WalkMe System ID - WalkMe System ID (WalkMeシステムID) は、WalkMeエディタで確認できます。[**Menu** (メニュー) - **Snippet** (スニペット)] タブに移動します。

Menu Organizer
Snippet

Environment
Test

WalkMe Enabled

Copy and paste the following code on to every page for which you want to enable WalkMe. The snippet must go between the <head> and </head> tags of a page.

```

<script type="text/javascript">(function() {var walkme = document.createElement('script'); walkme.type =
'text/javascript'; walkme.async = true; walkme.src =
'https://cdn.walkme.com/users/' + '7764475c4f9e441a2805897236
2f1c4d5_https.js'; var s = document.getElementsByTagName('script')[0]; s.parentNode.insertBefore(walkme, s);
window._walkmeConfig = {smartLoad:true}; })();</script>

```

Copy Code

Done

SegmentのデータをWalkMeで利用

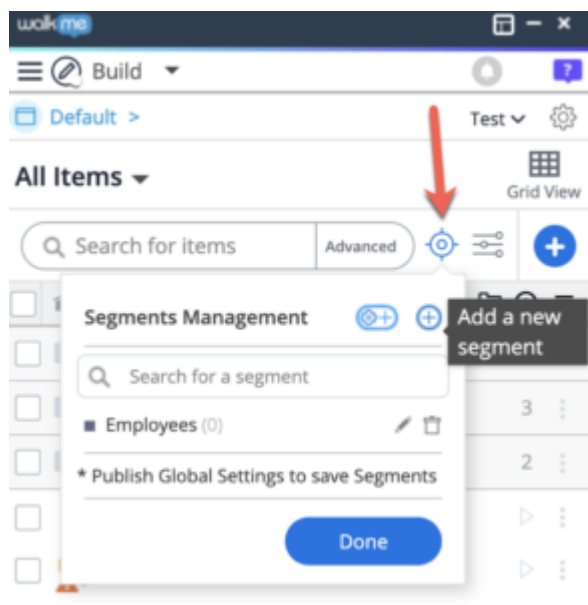
WalkMeのインテグレーションが完了したらSegmentからのデータを利用できるようになります。

さまざまなユースケースにおいてSegmentの「Identify」イベントからのあらゆるパラメーターをエディタで変数として利用できます。

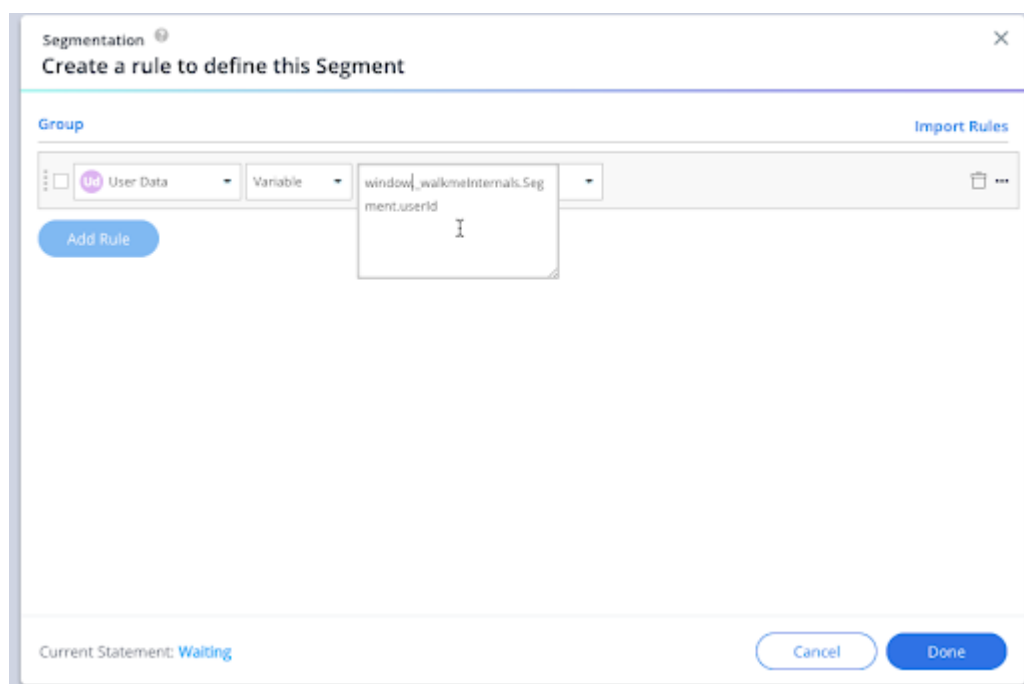
- 例： `window._walkmeInternals.Segment.userId` をWalkMeコンテンツのセグメンテーションに利用。

WalkMeエディタで以下を行います。

- セグメンテーションのエリア（ルールエンジン）を開きます。



- Segmentの変数を利用してRule(ルール)を定義します。



WalkMeエディタでこのセグメンテーションを利用します。

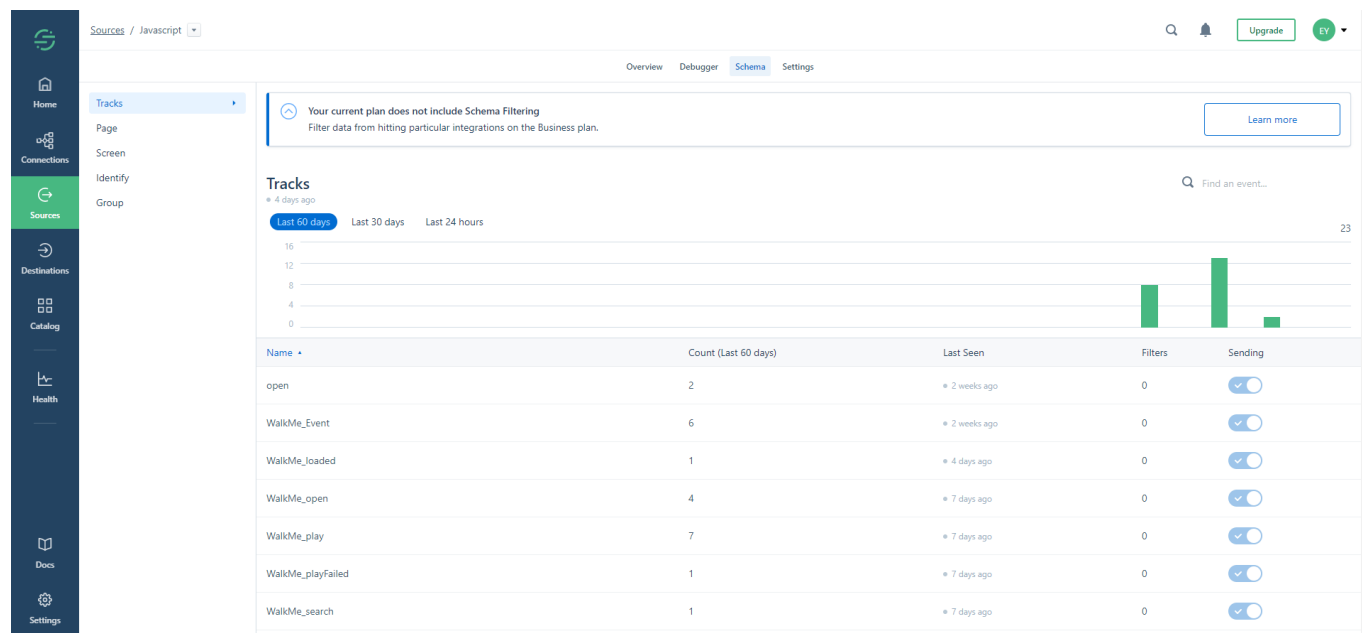
- [セグメンテーション \(ルールエンジン\)](#) の詳細については、[こちら](#)を参照してください。
- 利用可能なイベントの詳細については、[Segmentのドキュメンテーション](#)を参照してください。
- スニペットのほかのデプロイ方法について詳しくは、[こちら](#)と[こちら](#)（一括エクステンション）

を参照してください。

WalkMeのデータをSegmentで利用

「**Track WalkMe Events**」(WalkMeイベントの追跡)] が有効になっている場合は、インテグレーションを設定した環境のWalkMeのイベントをSegmentで見ることができます。

Source → Schemaへ移動するとWalkMeイベントのタイプと回数を、さらに特定のイベントタイプをクリックするとそのイベントの詳細を見ることができます。



この送信先はWalkMeが管理します。送信先に関する問題については、カスタマーサクセスマネージャーまたは[サポートまでお問い合わせ](#)ください。